

Dear  
my  
ordinary  
days.



## 創造コース

Course guide 2024



立ち止まって

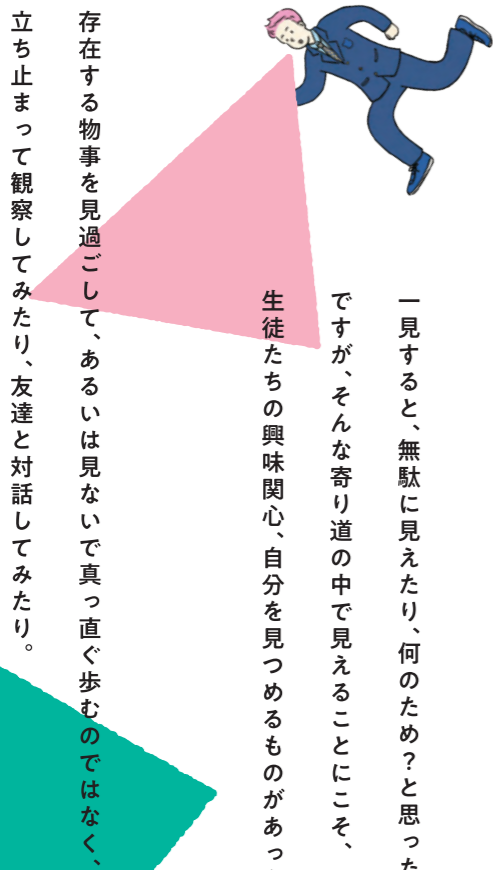
観察して

対話して



一本道は最短距離のように見えて、やるのが明確のように思えます。しかし、創造コースでは、「学びの主役を生徒」に戻すため、一本道を大人がグイグイ引っ張っていくことをやめました。

一見すると、無駄に見えたり、何のため?と思ったり。ですが、そんな寄り道の中で見えることにこそ、生徒たちの興味関心、自分を見つめるものがあったりします。



存在する物事を見過ごして、あるいは見ないで真っ直ぐ歩むのではなく、立ち止まって観察してみたり、友達と対話してみたり。面白そう!やってみよう!と思えば、やってみることができる。そのやってみることを応援し、支援するのが創造コースです。

## INFORMATION



創造コースの公式LINEはコチラ。最新情報をお届けしています!



創造コース SNSはコチラ



創造コース notelはコチラ



## ACCESS



住所: 〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町1-1

## SCHEDULE

2024  
創造コース  
体験会・説明会  
スケジュール

7/27<sub>±</sub> 8/31<sub>±</sub> 10/12<sub>±</sub> 11/16<sub>±</sub> 12/7<sub>±</sub>



お申込みは  
こちらから

高等学校

※ お時間や内容などの詳細については、HPでご確認ください。





### 机上では終わらない 学びがある

河野 恭彦 さん / 創造コース2年

「創造コースは、いろいろなことにチャレンジできる環境」というのは本当なんだと実感しています。一つ枠を破ったら次にまた新しい枠があって、またその新しい枠を破って進むようなチャレンジが繰り返されていくような日々。机上で学ぶだけでは終わらない環境がここにはあります。

先生との距離が近いことも創造コースの特徴です。困ったらすぐ頼りに行ける存在だし、先生のことをあだ名で呼んだりもしているので、クラスの一員のような感覚もあります。先生も僕たちと一緒に楽しんでくれる雰囲気がすごく好きです。

創造コースの先生たちは、良い意味で干渉しすぎないところがあって、まるでガードレールのように、外してはいけないところやある程度の道筋を示して、あとは自由にやらせてくれます。プロジェクトやプレゼンは特に自由度が高いので、本当に必要な時にサポートしてくれることがありがたいです。先生との距離感が近いから、クラスも安心安全な場所になり、お互い本音で話し合えるのだと思います。



### 生半可な気持ちでは 通用しない

邵 幹人 さん / 創造コース3年

中学までの僕は、ゲーム以外に楽しいと思えることがなく、学校での学びに対しても真剣に取り組めていませんでした。創造コースに入った今は、熱中するほど楽しいと思える予先が勉強や学校生活に向いています。ただ、楽しいだけではありません。生半可な気持ちでやっていたら、何も残らずに終わってしまうのが創造コースでの学びだと感じています。

創造コースでは、プロジェクトや授業の最後に、その学びを通してどんなことを感じたかや、どんな気づきがあったのかを振り返る「リフレクション」をよくします。日たりフレクションをする中で、自分自身についての新たな発見につながったり、自分がどういう人間なのか分かったりするので、そのときの自分の直感や気づきを振り返ることに価値があることを実感しました。

このように、創造コースはちゃんとやっていけば、気づきがめっちゃくちゃ得られる場所です。自分がおもしろくやろうと思えば、何事もおもしろくなる。そんなことに気づき、能動的になり始めている自分を感じています。



# 創造コースって、 どんな場所？

## What is the SOZO course like?

自分で自分の道を切り拓いていけるように

2022年に新しく誕生した創造コース。

そこに通う生徒たちは、日々、どんなことを感じ、  
考えながら学んでいるのでしょうか。

5人の生徒に聞いてみました。



### 答えがない問いに向き合う日々

齋藤 碧 さん / 創造コース2年

創造コースの授業では、「授業中にこんなにしゃべっていいんだ!」と驚くくらい、先生やクラスメイトと話す時間が多いです。ほぼ毎日、1時間以上はグループで話し合いながら課題に取り組んでいますし、思考もその分ぐるぐる動いている感覚があって、帰りの電車の中でまで「あの授業こう考えたな」とか「あの子こう言ったな」と考え返すことがしょっちゅうです。それくらい学びに没頭できているし、自分の考え方がすごく変化してきていることを日々実感しています。好きなのは、「探究」と「表現コミュニケーション」の授業。自分自身についてたくさん考えて、自分の新しい一面を発見できるのが楽しくて、お気に入りです。創造コースで考えることは答えがない問いばかりなので、自分なりに納得できる結論が見つかるまで、ひたすら考え続けます。思考したことを人に話して、新たな視点を得て、また思考して、の繰り返し。答えがない問いに向き合うワクワク感も、辛さも、両方を味わえるコースなんじゃないかなと思います。



### 挑戦する機会に溢れた環境

青木 美緒 さん / 創造コース3年

創造コースには、多様な学内外プログラムがあり、挑戦する機会に溢れています。でも、やるかやらないかは自分次第。他人が決めてくれるものではありません。ここには、自分がやりたいことを叶えるために、自分で決める自由があります。だからこそ、これからの自分には何が必要かを見極めて学ぶようになりました。創造コースでは、授業は3年間同じメンバーと一緒に学びます。グループ活動も多く、皆と一緒に過ごす中で、だんだんと自分の役割が分かってきます。役割とは、活動の中で自分が一番役に立てる部分のこと。グループワークを通して、自分のみならず、チームの強みにも気づくことができます。だから困ったときは、私が苦手なことを得意なメンバーに頼って助けってもらったり、逆に自分が得意な役に立てることは自分から助けにいたりすることで、チームワークの生かし方が身についたと思います。創造コースにしていると、自分の中にストックされている人間のバラエティが増えるし、自分の中の選択肢や可能性も広がっていくように感じています。



### 「やってみよう」を 無駄にしない

真砂 杏澄華 さん / 創造コース3年

他人が決めた道を進むことに生きやすさを感じてきた私は、入学当初、戸惑いました。なぜなら創造コースには敷かれた道がなく、自分で道を作っていくといけない環境だったからです。プロジェクトに取り組む中で考えて、言語化して、成長につなげるサイクルを繰り返すうちに、今では自分の道の作り方がどんどん分かってきたように感じます。

「とりあえずやってみよう」の後には何か絶対についてくるから、無駄なことじゃない。無駄なことにはしない。そのためにも、自分から動くことが大事。そんな感覚で取り組んでいます。

クラスメイトには他人の価値観を大事にできる人が多く、思ったことをバンバン言い合える関係性が心地いいです。自分で楽しむ力がある創造コース生は、授業が終わってもすぐに帰宅せずに、部活があるわけでもないのに学校に残っている人が多いんですよ。そんな光景を見ると、ここは自分がやりたいことを安心して吐き出せる場所であり、そんな自分たちをしっかり受け止めてくれる居心地がいい場所でもあるんじゃないかなと思います。



# 生徒それぞれがもつ世界を 広げ、深め、創造につながる独自の仕組み

創造コースで何よりも大切にしているのは、生徒がもつ独自の世界です。その世界が起点となり、その生徒にしか生み出せないものを創造できるように、「LHR」「教科学習」「プロジェクト実践」の3つを組み合わせた独自のカリキュラムを設計しています。



生徒の世界を大切にする  
創造コースの4つの考え方

**1** 生徒の中から湧き上がる感性や情熱を大切に

本当は全ての生徒が、唯一無二のかけがえのない世界を持っています。自分の奥底にあるその根源的な感性や情熱に気づき、それを最大限に爆発させられるように、学校生活のあらゆるタイミングで気づきや発見が生まれるような環境やきっかけをつくっていきます。

**2** 他者や社会と繋がり多様な価値観に触れる

そもそも、他者や社会と触れ合う機会が少なく、深く知らない生徒は多いです。まずは積極的に繋がり、向き合い、徹底的に考えをぶつけ合う。その過程で他者の多様な価値観に触れ、悩み、理解していきます。創造コースでは積極的にそういった機会を設けていきます。

**3** 自他の違いを知り、その違いを活かし合う

自分と他人、自分と社会の考え方、価値観に触れ、その違いに気づくことは大事ですが、創造コースでは違いのまままで終わらせることはしません。違いを生む背景を理解し、価値として認めた上で、自分の価値観と合わせて新しい価値を生む。そのスタンスを大事にしています。

**4** インプット+アウトプットで学びを拡張し、繋いでいく

学びはインプットだけでは深まることも定着することはありません。必ずアウトプットすることで、学んだ知識が活かされ、深まり、そこに気づきや内省が生まれ、体と頭に定着するのです。創造コースのカリキュラムでは、全ての学びにインプット+アウトプットを意識しています。

## 創造コースのカリキュラムの流れ

普通の授業カリキュラム(1~3学期共通)					中間・期末考査の期間	
月	火	水	木	金	1学期	2学期
1	英表I	数学I	体育	体育	1回目 / 5月中旬	
2	英表I	数学I	生物基礎	コミュ英I	2回目 / 6月下旬	
3	数学A	表コミI	生物基礎	表コミI	3回目 / 10月中旬	
4	数学A	表コミI	数学I	表コミI	4回目 / 11月下旬	
5	探究	歴史総合	コミュ英I	美術	5回目 / 2月下旬	
6	探究	歴史総合	コミュ英I	美術		
7	LHR	OM	OM	言語文化		

※ 創造コースの芸術選択は「美術」です ※ 1年生時の時間割例

### 理科(化学基礎)



「まずはやってみよう」のコンセプトの下に、実験をベースにして起こった事象の原因究明をレポートで解き明かしていく流れで学習内容の理解を深める試みを行っています。いきなり「実験」を推し進めると事故・ケガにつながり、学習どころではなくなるため、事前に扱う薬品の特徴や性質、危険性について詳細な説明をし、また、器具の取り扱いについても同様に時間をかけて説明を行います。事前の準備ができていれば、あとは実験プリントの手順に従い、各班で協力して実験を進めていだけ。ほとんど生徒に任せています。最後に結果をまとめて、PCなどを使いながら考察に取り組み、自分で化学反応の理屈を理解できるよう促しています。



創造コース 化学担当  
久保田 真治

### 英語



様々なSpeaking活動で「楽しい時間が始まる」と脳を「ハック」して始まる日々の授業。教科書はあくまで学びを深めるきっかけとなる参考資料です。内容を読み解くことは通過点に過ぎず、読解を通して自分の中におこる変容に力点を置き、リフレクションによりその「変容した自分」をメタ認知していきます。アウトプット方法はかっちりしたプレゼンのみならず、アニメキャラになり切った劇仕立て、YouTube動画作成と人それぞれです。他者の多様なアウトプットに触れることで進化する思考を意図しています。さらに、海外からのゲストとの交流を通して実際に英語を活用し、楽しさの向こう側にあるより高次元な英語学習へと移行。「圧倒的楽しさ」、それが創造英語。



創造コース 英語担当  
田橋 知直

### 表現



出発点は「身体」。人との関わりや学びの土台となる身体を育む授業です。声や身体を使った表現を通じて、自分の心や身体の動きに意識的になり、自分や他者への理解を深めます。コミュニケーションは双方向の関係の上に成り立つもの。この授業では、自分の気持ちを発信する力だけでなく、様々なワークを通じて相手の気持ちを想像する力や感じ取る力を養います。「自分を知る」「他者を知る」「協働する」体験を繰り返し、違いを超えて他者と繋がり合うための方法を考え、よりよく生きていくためのコミュニケーションの基礎を学びます。



創造コース 表現担当  
福岡 小百合

### 探究



“To pave the path we strive, nothing can stop our DRIVE.”  
「道なくとも切り拓く この意志をはばむものはなし」というビジョンを掲げ、自ら学びの原動力やモチベーション(DRIVE)を獲得しようとする学びです。そこで私たち探究科ではDRIVE Mindset「とりあえずやってみる」という学びに向かう姿勢を大切にしています。楽しんで、人と関わって、創って、共有する。そして振り返って考えることで、自分や他者、世界を捉え直していきます。自分のことをアート作品で表現すると、形となって見ることができ、新たに自分を捉え直すことができます。自らの独創性に気づいていきます。また、自らの独創性を生かしたまま、チームで新たな価値を生み出します。デザインという枠の中で、そして徐々にのみ出していくながら、協働によって創造性を育みます。



探究科 主任  
池谷 陽平

8時ごろから、生徒が続々と登校してきます。早く登校して教室の掃除をする子もいれば、1限目の予習をする子も。みんなリラックスして、思い思いの時間を過ごしています。



8:30  
登校



英語はもちろん、英語を通してこの先の社会について考えたりなど、英語の領域を超えた学びを得られ、深めることができます！

9:00  
1,2 限目  
英語

11:00  
3,4 限目  
数学



気軽にクラスメイトや先生を頼れる雰囲気があり、難しい問題は適宜先生が前で教えてくれるからすごく理解しやすいです！



12:50  
お昼休憩

合言葉は「まずはやってみよう!」。考えるより先に行動することで、想定外の気づきを得られることもよくあります！



13:35  
5,6 限目  
探究



それぞれ好きな場所で自由にお昼を過ごします。クラスの人々と話して、気分をリフレッシュ！

15:35  
7 限目  
LHR



一番「創造っぽい」授業！真善美のテーマにフォーカスした内容から、物事に対する考え方や視点を学びます！



16:30  
下校



下校時間になっても、すぐ帰る人は少なく、みんな教室に残って話したり、プロジェクトについて相談しあったり。みんなこのクラスが好きなんです。

密着ドキュメンタリー

### 創造コースの1週間を詰め込んだオリジナルムービー

創造コースの1週間の様子を1本の動画にまとめました。創造コースの生徒たちが普段どんなことを考え、悩み、前に進んでいっているのか。またそれを支える先生たちはどのように授業を組み立て、生徒の学びを設計しているのか。そんな創造コースの裏側が詰まった20分のムービーです。是非、右のQRコードからアクセスしてご覧ください！



## 創造コースの1週間

Dear my Ordinary Days



### 創造コースで、己の武器を磨いてほしい



創造コース 副部長 兼 担任  
高木 草太

創造コースでは、夢中になれることを見つけて輝く生徒たちの姿と多く出会えます。“自分”があって、“自分”に合った成長の仕方が見つけられていて、そこに向かって踏み出している生徒たちが集まる、そんな学び場です。自分が「人と違う」と思う部分も、自分の強みとしてどんどん研ぎ澄ませていけば武器になる。真に多様な社会とは、いろいろな武器を持つ一人ひとりが、ただ当たり前存在する社会だと思っているのですが、創造コースで自分の個性を思う存分伸ばした生徒たちが社会に飛び出す頃には、はみ出すことを恐れずに、自分の武器に勇気と誇りを持って進んでいく姿勢が身につけているはず。その武器磨きのお手伝いができたら光栄です。

### 自由に表現して、自己開示の扉を開こう



創造コース 表現担当  
福岡 小百合

創造コースでは、人が人とどう関わっていくかといったコミュニケーションの姿勢や素地の部分を、実践的に学べる授業が多くあります。私の授業でも、身体表現という方法で自己開示できるようになっていくプロセスに丁寧に取り組みます。その際に大切なことは、表現者が感じていることをただ受け止めること。これは人と人とのつながりにおいても同じです。正しい・間違っているではなくて、あなたはそう思ったんだね、ということを受け止めるだけでいい。そんな経験を丁寧にたくさん重ねていくと、「自由に表現してもいいんだ」という自己開示の扉が少しずつ開いていきます。創造コースで自己開示の扉を開き、自分が望む自分に向かっていってほしいと思います。

### 自らの手で、個性が尊重される環境を創ろう



創造コース 探究担当 兼 担任  
佐藤 佑平

きっかけをポジティブに捉えられるのは、創造コース生たちのすごいところ。答えがある数学の授業でも探究的な要素を取り入れて、「答えを出すことが目的じゃないよ」と伝えながら多様な気づきのきっかけを提供しています。また、生徒たちにとって創造コースは「自分が見つかる場所」のようです。何か一つの分野に特化しているわけではなく、皆に共通したビジョンがあるわけでもないところがむしろ良いのかもしれない。私たち教員も与えることは最小限にして、できる限り生徒たちに委ねています。個性が尊重される場で安心して自己開示できて、自分の中のモヤモヤを解消しながら自分らしくいられる場所を自分たちの手で創っていく、そんな環境です。

### 知的な好奇心旺盛な仲間と自分の“好き”に出会おう



創造コース 地歴担当  
奥 允孝

創造コース生の、知的な好奇心が強く、何にでも興味を持って前向きに取り組む姿勢には感心します。今は興味が無くてちゃんと情報を受け取ろうという姿勢は、アウトプットに注力することが特徴的な創造コースの授業では大切です。いろいろな情報や知識をインプットして自分の意見を組み立て、判断する力をつけてもらえたらと思っています。また、多種多様な方面から刺激をもらえるので、今はまだ好きなものが見つからない人には、友達や先生が共有してくれることの中から自分の軸や好きなものを掴みやすい環境だと思います。既に好きなことがある人にとっても、違う尺度から捉え直して、さらに深めていけるような刺激をもらえる場所ですよ。